

学年：4年	単元名：そろばん
-------	----------

1. 単元目標：(全2時間)

○そろばんの仕組みについての理解し、加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の計算に仕方を考える力を養うとともに、そろばんに仕組みを考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。

考判表・そろばんを用いた小数の加減計算の仕方を十進位取り記数法の仕組みを基にして考え、表現することができる。

知・技・そろばんを用いて、整数や小数の加減計算をすることができる。

・そろばんの仕組みや、そろばんを用いた整数や小数の加減計算の仕方を理解する。

2. 指導内容

- ・大きい数や小数の珠の入れ方
- ・そろばんによる簡単な小数の加減計算

3. 指導のポイント

○そろばんの仕組みをしっかり復習する。

○十進位取り記数法に従っていることを理解させたい。

○技能は、徹底指導し、習熟をはかる。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○そろばんを使って数を表そう。(P92)

○位を理解させる。

第2時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○そろばんを使って、小数のたし算ひき算をしよう。(P93)

※そろばんを扱う時、電卓の指導を入れてもいいと思う。

特に、わり算のあまりの出る問題などの扱いを指導しておいたら有効であると思う。